

授業科目	論理学	開講 1 年生	1 単位	3 0 時間	講師：諸井 秀文	
授業概要	筋道の通った考え方、物事を客観的に判断する能力と、事実を正しく解釈できる思考を訓練する。 1. 論理的思考を養う。(文章の読解及び表現ができる。物事の筋道を立てて正しく考える。) 1) 読む、書くを中心に文章の書き方を身につける。「一文一義」の文が書けるようになる。 2) 聞く、話すを中心に言葉の運用能力の向上を図る。 2. 将来、研究論文を書くための文章構成法を身につける。					
時間	事前学習	授業計画・授業内容			授業方法	事後学習
2		・ 論理学の概要を知る ・ 文章校正上の基本を確認する			講義	
4		・ 起承転結の文章を知る ・ 起承転結をふまえた文章を書く			講義	課題作文
6		・ 作文の基本を確認する 1 (句読点、接続詞、文末表現など)			講義	
8		・ 文章のねじれに注意して、ねじれ文を修正する			講義	
10		・ 文章を読んで自分の考えをまとめる			講義	課題作文
12		・ 話を聞いて、それを整理して文章にまとめる 1			講義	
14		・ 話を聞いて、それを整理して文章にまとめる 2			講義	課題作文
16		・ 詩に親しむ (言葉の粋を学ぶ)			講義	
18		・ 詩に親しむ 2 (言葉の粋を学ぶ) ・ 鑑賞文を書く			講義	課題作文
20		・ 1 つの意見への文章を書く 1 (原稿用紙 2 枚)			講義	課題作文
22		・ 1 つの意見への文章を書く 2 (原稿用紙 2 枚)			講義	課題作文
24		・ 作文の基本を確認する 2 (書き出し、言い回し、オリジナリティなど)			講義	
26		・ 1 つの意見への文章を書く 3 (原稿用紙 2 枚)			講義	課題作文
28		・ 与えられたテーマに即して、文章の構成を考える			講義	
30		・ 文章構成上の注意をまとめる ・ 評価のためのテスト (試験)・解説			講義 試験	
評価方法		筆記試験 課題作文 学習態度				
テキスト		看護学生が身につけたい論理的に書く・読むスキル 医学書院 プリント				
参考図書						
備 考						

授業科目		情報科学	開講 1 年生	1 単位	3 0 時間	講師：富澤 浩樹	
授業概要		1. 情報を科学的に整理分析する方法や看護情報を効果的に活用する方法を学ぶ。 2. コンピューターにふれ、演習により情報科学の基礎を学習する。					
時間	事前学習	授業計画・授業内容				授業方法	事後学習
2 4 6	学習前アンケート	ガイダンス、 情報科学概論 授業の基本方針解説 医療情報システム（電子カルテ）と P C 利用 インターネットと情報メディア リテラシー、情報リテラシー PC の基本操作：授業システム（CMC）の利用 演習 1：電子掲示板への投稿（授業の感想と抱負） 不特定多数への情報発信 情報システムの公開範囲 テキストエディタの利用 演習 2：自己紹介項目の検討と提示				講義 演習	自己紹介ページ作成
8 10 12 14		情報の信頼性と評価 インターネット利用の特徴と危険性 演習 3：Web サイトの信頼性評価 表計算ソフトの基本機能（1） 表計算ソフトの目的・基本概念 演習 4：アドレスを使った計算（消費税の計算） 表計算ソフトの基本機能（2） 表形式によるデータの整理 演習 5：作表 ワープロソフトの基本機能 ワープロソフトの目的、基本概念 演習 6：事務書類の作成（ワープロの基本機能確認）				講義 演習	
16 18 20 22		紙メディアを用いたプレゼンテーション 画像データの取得と編集 演習 7：P R ポスターの制作 表計算ソフトによるグラフ作成 効率的な作表 演習 8：作表とグラフ 表計算ソフトによる関数の利用 統計関数と論理関数 演習 9：健康診断表の作成 スライド作成ソフトの基本機能 スライド作成ソフトの目的 演習 10：P R スライドの作成				講義 演習	
24 26 28 30		表計算ソフトの応用機能（2） スライド作成ソフトによる口頭 発表用スライドの作成 演習 11：アニメスライドの制作 スライド作成ソフトの応用 表計算ソフトの効率的な活用 演習 12：九九表・バイオリズムグラフ 授業のまとめ、最終課題提示 コンピュータとの付き合い方、論理的思考、システム思考 最終課題：リテラシ課題・表計算・ワープロ／スライド課題 課題レポート・解説				講義 演習	最終課題 提出
評価方法		課題レポート 学習態度					
テキスト		情報科学演習ワークブック（講師作成） プリント					
参考図書							
備 考							

授業科目		心理学	開講	1 年生	1 単位	3 0 時間	講師：金子 泰之
授業概要		1．人間の心の発達過程とそれに伴う行動の原理を学び、人間理解を深める。 2．人間の発達段階における課題と危機、適応と心理を学び、心のあり様を考える。					
時間	事前学習	授業計画・授業内容				授業方法	事後学習
2		第1章 看護における人間理解 1．人間理解と心理学 2．科学としての心理学 3．心理学における心とからだ				講義	
4		第2章 認知からの人間理解 1．感覚・近くと心理的環境 2．記憶と想起 3．言語とコミュニケーション				講義	
6 8		第3章 行動からの人間理解 1．欲求と動機付け 2．葛藤とフラストレーション 3．学習と行動				講義	
10 12		第4章 発達からの人間理解 1．発達段階と発達課題 2．乳幼児期から青年期へ 3．成人期から老年期へ				講義	
14 16		第5章 パーソナリティからの人間理解 1．パーソナリティとは 2．知能の理解 3．性格の理解 4．自己と自己意識 5．パーソナリティの理解				講義	
18 20		第6章 人間関係からの人間理解 1．対人認知と対人関係 2．集団と組織 3．組織と文化				講義	中間試験
22 24		第7章 心理臨床からの人間関係 1．ストレスとコーピング 2．適応のメカニズム 3．カウンセリングと心理療法				講義	
26 28		第8章 看護に活かす心理学 1．病者、患者、障害者の心理の理解 2．看護師自身の心理の理解 3．患者と看護師の関係 4．看護師と医療スタッフとの連携				講義	
30		試験・解説					
評価方法		筆記試験 課題レポート 学習態度					
テキスト		新体系 看護学全書 心理学 メヂカルフレンド社					
参考図書							
備 考							

授業科目		臨床英会話	開講 1 年生	1 単位	30 時間	講師：関根正和
授業概要		1. 日常会話の基礎を学ぶ。 2. 臨床看護場面における日常英会話を学ぶ。				
時間	事前学習	授業計画. 教授内容	授業方法			事後学習
2		授業・評価等について Unit 1 受付 ①Dialog ②Exercises A～E ③Useful Words 1	講義 ①Pair Practice ②Q&A Dictation (CD) ③検査用語の理解 anthropometry,metabolic function, etc			
4		Unit 2 外来診療 ①Dialog ②Exercises A～E ③Useful Words 2	①Pair Practice ②Q&A Dictation (CD) ③検査用語の理解 live function, renal function, etc			
6		Unit 3 問診 ①Dialog ②Exercises A～E ③Parts of the Body 1	①Pair Practice ②Q&A Dictation (CD) ③体の部位の理解 eyebrow, chest, shin, etc			
8		Unit 4 検査 ①Dialog ②Exercises A～E ③Useful Expressions 1	①Pair Practice ②Q&A Dictation (CD) ③会話練習 Wow!Huh! Great! Terrible! What! etc			
10		Unit 5 入院 ①Dialog ②Exercises A～E ③Parts of the Body 2	①Pair Practice ②Q&A Dictation (CD) ③体の部位の理解 forearm, back, spine, calf, etc			
12		Unit 6 手術 ①Dialog ②Exercises A～E ③Useful Words 3	①Pair Practice ②Q&A Dictation (CD) ③検査用語の理解 chest X-ray finding, ultrasonic finding, etc			
14		Unit 7 病室 ①Dialog ②Exercises A～E ③Parts of the Body 3, 4	①Pair Practice ②Q&A Dictation (CD) ③体の部位の理解 brain, muscles, thumb, etc			
16		Unit 8 要望 Unit 9 食事 ①Dialog ②Exercises A～C ③Useful Expressions 2	①Pair Practice ②Q&A Dictation (CD) ③会話練習 Help! Freeze! Watch out! Srop it! etc			
18		Unit10 入浴 Unit11 リハビリテーション ①Dialog ②Exercises A～E	①Pair Practice ②Q&A Dictation (CD)			
20		Unit12 退院 ①Dialog ②Exercises A～C ③Useful Expressions 3	①Pair Practice ②Q&A Dictation (CD) ③会話練習 Absolutely! Smile! I'm sorry. etc			
22		Unit13 薬局 Unit14 支払い ①Dialog ②Exercises A～E ③Quiz 1 (英語と和製英語)	①Pair Practice ②Q&A Dictation (CD) ③Q&A			
24		Unit15 セラピー ①Dialog ②Exercises A～E ③Quiz 2 (おもしろい英語表現) ④Appendix	①Pair Practice ②Q&A Dictation (CD) ③Q&A ④ ・ Saying Days of the Week, Months and Dates ・ Completing Irregular Verbs List			
26		Review1	Handouts (Unit 1 through Unit 8)			
28		Review2	Handouts (Unit 9 through Unit 15)			
30		試験				
評価方法		筆記試験 学習態度				
テキスト		“English for Cure & Hospitality II” 鷹書房弓プレス プリント				
参考図書						

授業科目	教育学	開講 2 年生	1 単位	3 0 時間	講師：小沢恵美子
授業概要	人間の成長発達と学習や教育の基本について学び、人の社会生活における教育の役割と教育的機能について理解する				
時間	事前学習	授業計画・授業内容			授業方法 事後学習
2 4		第 1 部 人の発達と学習 ・ 学ぶことと教えること			講義
6 8 10 12 14 16		第 2 部 指導の基本 ・ 指導者の役割と倫理を理解する ・ 指導を設計する ・ 効果的に指導する ・ 学習を評価する			講義
18 20 22 24 26		第 3 部 さまざまな指導の技法 ・ 学習意欲を高める技法 ・ コーチングの技法 ・ ディスカッションの技法			講義 演習
28		まとめ			講義
30		試験・解説			
評価方法		筆記試験 学習態度			
テキスト		看護のための教育学 第 2 版 医学書院 プリント			
参考図書					
備考					

授業科目	くらしの基本	開講 1 年生	1 単位	1 5 時間	講師：権田 浩子
授業概要	看護に必要なくらしの基本と必要な礼儀作法を学び再確認する。				
時間	事前学習	授業計画・授業内容			授業方法 事後学習
2		1. くらしの基本を学ぶ意義 2. 秩父のくらしと伝統 3. 日本の年中行事 4. 日本の暦（二十四節気、雑節、六曜）			講義
6		5. 日常生活のマナー (1) あいさつの仕方 (2) 部屋の上座、下座（洋室、和室） (3) 訪問時のマナーと方法（洋室、和室） (4) 花の生け方の基本（花瓶に生ける） (5) メール、電話のかけ方、受け方 (6) 慶事、弔辞の贈り物（熨斗、水引） (7) 祝儀袋、不祝儀袋、お見舞い袋の扱い方			講義 演習
8		(8) お茶に関するマナー ①急須でお茶を入れる ②お茶とお菓子の出し方といただき方 ③茶道でのお菓子と薄茶のいただき方 (9) 食事に関するマナー ①箸の使い方 ②食事の時のマナー			講義 演習
10		(10) 衣類管理の基本 ①洗濯の方法 ②洗濯物の干し方、たたみ方 ③ゆかたのたたみ方、ひもの縛り方（実技試験） ④ボタン付け、まつり縫いの仕方 ⑤アイロンのかけ方			講義 演習
14		(11) 掃除の基本 ①雑巾の絞り方 ②掃除機の使い方 ③整理・整頓 ④ゴミの出し方 (12) 手紙、葉書の書き方と出し方			講義 演習
15		試験・解説			
評価方法		筆記試験 実技試験 学習態度			
テキスト		最新版 楽しく学べるマナーの基本 教育図書株式会社 プリント			
参考図書		イラストでわかる 13 歳から自立できる家事の基本(PHP)、儀礼は人生を拓く（ヒーロー出版）、日本のしきたり（晋遊舎）			
備考					

授業科目	コミュニケーション実践	開講 1 年生	1 単位	1 5 時間	講師：佐藤 ゆみ	
授業概要	1. 人と関わることを意味を理解し、人とのかかわり方の基本を、演習を通して学ぶ。					
時間	事前学習	授業計画・授業内容			授業方法	事後学習
2		1) コミュニケーションの目的と基本 2) SST でよりよいコミュニケーションを学ぶ 演習 A) 「ほめるスキル」 提出物) #1：個人目標 #2：演習 A と宿題の記録			講義 演習	宿題
4		1) コミュニケーションの際の自分の特徴を知る 演習 B) 「よい感情を伝えるスキル」 提出物) #3：演習 B と宿題の記録			講義 演習	宿題
6		1) 認知と行動の過程 演習 C) 「相手の話に耳を傾けるスキル」 演習 D) 「頼みごとをするるスキル」 提出物) #4：演習 C と宿題の記録 #5：演習 D と宿題の記録			講義 演習	宿題
8		1) 自己主張について 演習 E) 「頼みを断るスキル」 演習 F) 「報告・連絡・相談・質問・依頼」について 提出物) #6：演習 E と宿題の記録			講義 演習	宿題
10		1) 問題解決法 演習 G) 「問題解決法 その 1」 大グループで行う			講義 演習	
12		1) 問題解決法の目的 / 認知と行動の過程の復習 演習 H) 「問題解決法 その 2」 小グループで行う 提出物) #7：演習 H のグループ記録			講義 演習	
14		1) 学習の振り返り 演習 I) 課題は未定 提出物) 個人目標の自己評価 (#1 と合わせて評価)			講義 演習	
15		課題レポート提出・解説				
評価方法		課題レポート（60 点） 学習態度（ルールの理解実行など）（5 点） 提出物 7×5 点（35 点）				
テキスト		こんな看護師になりたいを叶える！ 看護学生のためのコミュニケーション Lesson メヂカルフレンド社				
参考図書		・ はじめての看護実習 - 基礎からステップアップ看護コミュニケーション - へるす出版 ・ 改訂版アサーショントレーニングさわやかな自己表現のために 日精研 ・ 改訂版わかりやすい SST ステップガイド - 統合失調症を持つ人の援助に生かす - 上・下巻 星和書店 ・ 行動療法事典 岩崎学術出版				
備 考						

授業科目	人間関係論 I	開講 1 年生	1 単位	1 5 時間	講師：羽地 朝和	
授業概要	1．看護現場のみならず社会生活でもっとも基本的なことがらである人間関係の諸側面を体験的に学ぶ。 2．学生個々の自己理解の深化と人間関係の向上を目指し、コミュニケーションの基本を学ぶ					
時間	事前学習	授業計画・授業内容			授業方法	事後学習
	グループ編成 各役割及び 部屋割決め					
2 4 6 8		合宿での集中授業（一泊二日） 1 日目（現地集合） 開会 ― 入所の集い、合宿授業についてのガイダンス セッション 1 お互いに知り合う ・ より良く知り合う（4 つの窓） ・ この授業のねらいの明確化 セッション 2 チームワーク学習 1 ・ 実習 1 ・ 振り返り セッション 3 学びの論理化① ・ 討議 ・ グループ討議 セッション 4 チームワーク実習 2 ・ 実習 2 ・ 振り返り 本日のまとめ ジャーナル			ラボラトリー方式の講義及び体験学習	
10 12 14		2 日目 セッション 5 学びの論理化② ・ 討議 ・ グループ討議 セッション 6 グループ体験学習 ・ 実習「グループ創作活動」 ・ 発表 ・ 振り返り セッション 7 2 日間のまとめ ・ 学びの整理 ・ 課題レポートについて 終了・解散				
15		課題レポート提出・解説				
評価方法		課題レポート 学習態度				
テキスト		プリント				
参考図書		「人間関係トレーニング」ナカニシヤ出版より抜粋 ・ 1 体験から学ぶということ ・ 17 ジョハリの窓 ・ 18 成長のためのフィードバック人間関係論				
備 考		長瀬「元気プラザ」にて宿泊				

授業科目	人間関係論Ⅱ	開講 3 年生	1 単位	1 5 時間	講師：羽地 朝和
授業概要	人間関係に関する基礎理論を学び、人間関係を深く考察する。				
時間	事前学習	授業計画・授業内容	授業方法	事後学習	
2 4 6		実施方法 集中授業 開講 オリエンテーション ①授業のねらい、内容確認 ②ここでの学び方 ③授業への期待の明確化 1. 自分を振り返る ①これまでの自分の振り返り ②最近の私 2. 自己理解と他者理解を深める ①TA（交流分析）とは ②自己概念と成長 ③私たちの性格 ④性格の自己分析 エコグラム ⑤自己成長のための整理 3. ストレスのセルフマネジメント ①ストレスとは ②セルフチェック ③ストレスへの上手な対処 ※質疑応答 ※ジャーナル：学びの整理	講義 ペアワーク グループワーク 対話 演習		
8 10 12 14		4. 心の栄養 ストローク ①心の栄養 ストローク ②ストロークの具体例 ③自己認知欲求の源 ④ストロークの応用 5. 相手の話をしっかり聴く ①相手の話を傾聴する ②問いかけの質問 6. これまでとこれまでの歩み ①自分の 3 年間の歩み ②これからの夢、目標 7. 学習のまとめと整理 ①グループの気づきの共有化 ②質疑応答 ※授業の評価とレポート ①この授業の評価について ②レポート			
15		課題レポート提出・解説			
評価方法		課題レポート 学習態度			
テキスト		プリント			
参考図書					
備 考		学習方法 交流分析（Transactional Analysis）を学ぶ カウンセリング技法を学ぶ ストレスマネジメントを学ぶ			

授業科目	文化人類学	開講 1 年生	1 単位	3 0 時間	講師：井出 弘毅	
授業概要	1．世界に存在する諸民族の多様な文化を知り、異文化をどのように理解したらよいかを学ぶ。 2．文化人類学的立場から医療と文化、女性と文化についての理解を深める。					
時間	事前学習	授業計画・授業内容			授業方法	事後学習
2 ～ 8		Ⅰ．文化人類学とは何か Ⅱ．文化の定義 Ⅲ．文化人類学研究史 Ⅳ．フィールドワークとは 学問とは「人間とは何か」、 生物進化論 形態人類学(生まれる前から決まっていた) 文化人類学（後から決まった部分） 文化生存のため、行ってきた多面的な活動			講義	
10 ～ 14		Ⅰ．個人と社会 Ⅱ．家族 Ⅲ．婚姻 社会学 自己中心主義 進化 文化 異文化 個人という概念 文化人類学はどのような学問か 文化進化論 文化相対主義 グローバリゼーション			講義	
16 ～ 20		Ⅰ．人の一生と文化 Ⅱ．通過儀礼 Ⅲ．子どもという時期 病気とは何か、 健康とは、 文化人類学における健康のとらえ方			講義	
22 ～ 28		Ⅰ．儀礼の意義 Ⅱ．病と文化 Ⅲ．死の社会的意味 Ⅳ．文化と人間 家族 核家族 家族の形の変化 家族とは 生殖と親子 婚姻と給付 擬制的親子関係			講義	
30		試験・解説				
評価方法		筆記試験 課題レポート 学習態度				
テキスト		系統看護学講座 文化人類学 医学書院 プリント				
参考図書						
備 考						

授業科目	家族社会学	開講 1 年生	1 単位	30 時間	講師：横山 清
授業概要	・社会学のアプローチに基づき、現代家族の事象を学び、自分の生き方と社会構造を関連付け、well-being な生き方を考える。 ・家族の機能と役割を歴史、法規、諸相、結婚、夫婦、子どもの機能と役割から理解し、現代的課題等について、多面的で重層的に考える力を養う。				
時間	事前学習	授業計画・教授内容		授業方法	事後学習
2		授業の進め方 家族社会学とは何か。ガイダンス、授業の到達目標 いま、家族って！		講義	リアクション ペーパー1
4		家族：家族であるための条件、人口変動と家族・世帯、日本の家族の相対化、家族と法律		講義、発表、 グループ学習	発表者レポー ト（毎時）
6		家族のイメージと実像：家族らしさ、携帯としての家族・意識としての家族、客観的家族・主観的家族、家族の範囲		講義、発表、 グループ学習	
8		近代につくられた家族：日本の近代家族のおこり、近代家族とイエ制度、家庭の生成と主婦の誕生、家族の生活、戦前の家族から戦後の家族へ、戸籍と住民票		講義、発表、 グループ学習	GW レポート1
10		家族構造の個人化と共同化：個人化・個別化・私事化・私秘化、親族ネットワーク・近隣ネットワークの変容、単身化、性の多様性、過疎と家族、グローバル化		講義、発表、 グループ学習	
12		現代家族の諸相：都市労働家族、家族と教育、企業社会と性別役割分業、階層と家族		講義、発表、 グループ学習	GW レポート2
14		中間試験・解説			
16		家族の相対化：I 青年期のライフコース、いじめ問題、少年非行、貧困、若者の生と性、家族の国際化、民法と「子ども」		講義、発表、 グループ学習	
18		家族の相対化：II 結婚・関係の多様性、国際的視点 VTR（ドイツ、ネパール、USA）		講義、発表、 グループ学習	
20		家族の相対化：III 夫・妻、ジェンダー、家計、DV、離婚		講義、発表、 グループ学習	GW レポート3
22		家族の相対化：IV 父・母と子、生殖技術、戸籍、法律における親子		講義、発表、 グループ学習	
24		家族の相対化：V 子育て、母性、虐待、教育格差、ひとり親、離婚と子ども		講義、発表、 グループ学習	
26		家族の相対化：高齢期の夫と妻、親子のつきあいと交流、祖父母と孫、同居・扶養、介護、高齢者虐待、家族と墓、終末期、親族扶養と相続		講義、発表、 グループ学習	GW レポート4
28		家族のこれからと私		グループ学習	リアクション ペーパー2
30		試験・解説			
評価方法		学習態度 筆記試験 発表プレゼンテーション レポート グループワーク			
テキスト		よくわかる現代家族 ミネルヴァ書房			
参考図書					
備考		発表でプレゼン力、グループワークで役割を学習			

授業科目	スポーツと癒し	開講 1 年生	1 単位	3 0 時間	講師：林 宏美
授業概要	健康にとって重要な様々な運動とストレスへの対処方法として癒しの方法を学ぶ。				
時 間	事前学習	授業計画・授業内容	授業方法	事後学習	担当講師
2 4		○オリエンテーション ○散策	教室 羊山公園散策 芝桜鑑賞		林 宏美 専任教員
6 8 10 12		○フラダンス基礎	講義 実践（4 階ホール）		フラダンス講師 加藤 雪絵
14 16 18		○薙刀基礎（礼儀作法含）	講義 実践（4 階ホール）		薙刀講師 松澤 光
20 22 24		○アロマ基礎	講義（zoom） 実践（4 階ホール）		アロマ講師 見谷 貴代
26 28		○座禅体験	札所 8 番西善寺 ・座禅体験 ・埼玉県指定天然記念物 コミネカエデ鑑賞		専任教員
30		課題レポート作成・まとめ			林 宏美
評価方法	課題レポート 学習態度				
テキスト	アロマセラピー検定 公式テキスト 1 級・2 級 日本アロマ環境協会				
参考図書					
備 考	＜準 備＞ ・運動ができる服装（常識の範囲内で） ・アクセサリ禁止				

授業科目	ネイチャー・アクティビティ	開講 2 年生	1 単位	3 0 時間	講師：瀧深 徹
授業概要	1. 様々な活動を通して集団生活について学び、個人および集団の学生生活をより健康的で充実したものとする。 2. 野外活動を通じて自然に親しみ感性を養う。				
時間	事前学習	授業計画・授業内容			授業方法 事後学習
2 4	キャンプ参加 アンケート (食事・薬品 アレルギーなど)	授業オリエンテーション この授業から何を学ぶのか？ 授業の進め方、 キャンプの作り方 ・全体会議 ― 班わけ (6～7 名にて生活班を決める、各班男子 1 名) ・班会議 ― 係分担、野外料理計画、キャンプファイヤースタンツ ・係会議 ― 係長決め、係の仕事の確認と分担			講義 GW 「キャンプ のしおり」 の仕上げ
6 8		・全体会 ― 持ち物表の確認、野外料理の計画方法 ・班会議 ― 野外料理計画作り キャンプファイヤースタンツ作り、その他 係への提案 ・係会議 ― 係の仕事の遂行、班提案事項の検討 ・班会議 ― 係会議からの報告 ・全体会 ― 全体会での確認事項 参加のしおり配布、			GW グループ毎 スタンツの 練習
10 12 14 16 18 20 22		○キャンプ (一泊二日) ・一日目 学校集合、バスにて移動 (途中スーパーにて夕食食材購入) 宿泊施設到着後、入所式 昼食 (施設食堂) 交流・協力の野外GWゲーム 夕食作り (野外料理) 夕食 キャンプファイヤー リーダー会議 ・二日目 朝食 (施設食堂) 荷物整理、清掃 学生企画活動 昼食 (施設食堂) 帰る準備 振り返り 退所式 バスにて移動、学校到着後 解散			学 生 主 体 と な り 計 画 ・ 運 営
24 26 28 30		・全体で一振り返りシートの記入、MC 返却 ・班ごとに振り返りシートをシェアリング (班会議) 壁新聞作りのための編集会議 (班会議)、班ごとに作業 来年度学生への資料作り会議 ・壁新聞作り、来年度のための資料作り (キャンプを楽しむために) ・全体：まとめの講義			GW 講義 パンフレッ ト、壁新聞 の仕上げ レポート 提出
評価方法		課題レポート 学習態度			
テキスト		プリント			
参考図書					
備 考		キャンプ 1) 野外炊飯 2) オリエンテーリング 3) キャンプファイヤー 4) その他 「おにし青少年野外活動センター」にて宿泊			

授業科目	生命倫理	開講 3 年生	1 単位	3 0 時間	講師：扇原 五百恵
授業概要	1．生命倫理とは何かを学ぶ。 2．いのちとそれを取り巻く多くの諸問題を生命倫理の視点から考える。				
時 間	事前学習	授業計画・授業内容			授業方法 事後学習
2		生命倫理とは			講義
4		ヒトゲノム研究とは			講義
6		医療における生命倫理			講義
8		遺伝子治療ガイドライン			講義
10		インフォームドコンセント			講義
12		患者の自己決定の権利			講義
14		生命補助医療における生命倫理			講義
16		環境倫理			
18		安楽死と尊厳死（厚生労働省ガイドライン）			講義
20		生命倫理の国際的宣言			講義
22		グループワーク「生命倫理の問題」			GW
24		グループワーク発表「生命倫理の問題」			
26		生命倫理のまとめ			講義
28		ケアの倫理とは			講義
30		試験・解説			
評価方法		筆記試験 課題レポート 学習態度			
テキスト		心身健康科学シリーズ 生命倫理学 人間総合科学大学 プリント			
参考図書					
備 考					

授業科目	哲 学	開講 3 年生	1 単位	1 5 時間	講師：佐竹 大耕
授業概要	人間とは何か、生きる意味は何かを考える。				
時 間	事前学習	授業計画・授業内容		授業 方法	事後学習
		講義テーマ「日本の文化と生命観」			
2		「文化と文明の違いとせめぎ合い」 ・文化 culture と文明 civilization		講義	課題レポート
4 6		「人間とは何か：ヒトと人間＝文化（社会）的存在」 ・二重存在としての人間 ・人間としての生死問題		講義	
8 10		「生命観における東と西」 ・「天地創造」と「天地初発」 ・“神仏” という宗教文化		講義	
12 14		「イノチとイノリ：日本人の霊的生命観」 ・インド以東の生命観 ・絆としての命（イノチ）の共同体		講義	
15		試験・解説			
評価方法		筆記試験 課題レポート 学習態度			
テキスト		プリント			
参考図書					
備 考					